



第11回 経済・財政一体改革推進委員会資料

愛知県豊明市
産学官協働のミクストコミュニティづくりを通じた
地域再生への取り組み

豊明団地から広がる地域包括ケアシステム
「けやきいきいきプロジェクト」



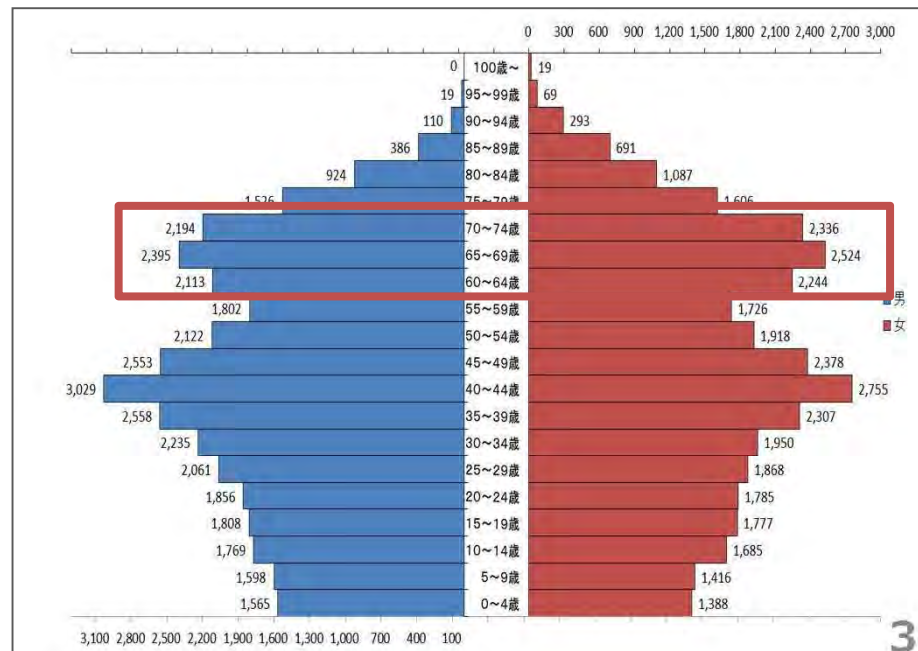
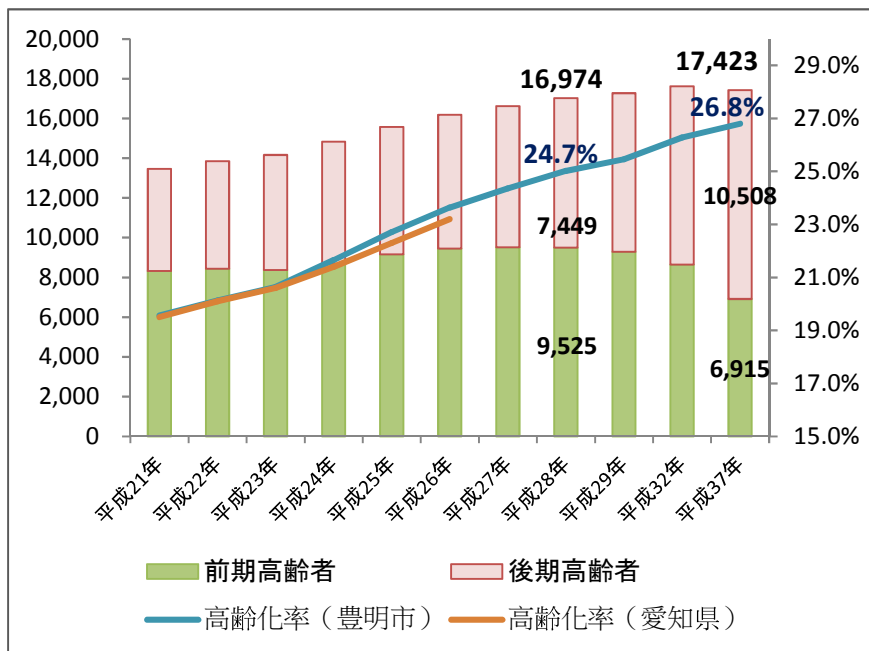


1 豊明市の地域包括ケアの取組み



豊明市の概況

- ・愛知県のほぼ中央に位置する名古屋市のベッドタウン
- ・人口 68,674人 (28,947世帯)
- 高齢者人口 16,974人 (平成28年4月1日現在)
- ・高齢化率 **24.7%** (県高齢化率より高い)
- ・人口構成は、前期高齢者に人口に山があり、
今後10年の後期高齢者の伸びが著しい地域特性



豊明市の医療・介護資源

医療資源

病院 3 (一般病床1,435、回復期床0、療養28)

藤田保健衛生大学病院、豊明栄病院

桶狭間病院藤田こころケアセンター

診療所 39、歯科 39、薬局 25、訪看 5、訪リハ 4

関連師会

- ◆医師会 : 東名古屋豊明市医師会
- ◆歯科医師会 : 愛豊歯科医師会豊明支部
- ◆薬剤師会 : 日進東郷豊明薬剤師会

介護資源

特別養護老人ホーム 4 (259床)

老人保健施設 2 (448床)

訪問介護 5, 通所介護 11

小規模多機能居宅介護 1

認知症対応型共同生活介護 4 (5ユニット)

定期巡回随時対応型訪問看護介護 1

居宅介護支援事業所 13

地域包括支援センター 2 (委託)



藤田保健衛生大学病院

許可ベッド数 : 1,435 床

平均在院日数 : 15,2 日

平均外来患者 : 約 2,100 人/日

医療従事者 : 約 2,600 人

年間手術件数 : 約 11,000 件

退院調整依頼 : 1,500 件/年

年間退院患者数 : 約25,000人

1つの医療施設としては我が国最多を誇る病床を持つ厚生労働省が定める特定機能病院

藤田保健衛生大学 地域包括ケア中核センター

2013年2月1日、全国初「学校法人」による
介護保険事業設置許可
居宅介護支援事業所・訪問看護ステーションを設置

24時間 365日体制で、重症やがん末期の訪問看護・リハビリも担う



豊明市を取り巻く社会変化

◇背景

- ・大都市近郊の高齢化の典型、**後期高齢者人口の著しい増加**
- ・**豊明団地**を中心に**独居高齢者・高齢者のみ世帯**の増加
- ・急激に増え続ける**医療・介護ニーズ**と深刻な**担い手不足**

◇課題

- ・**在院日数の短縮**、繰り返す入退院
- ・全国平均、県平均を上回る一人あたりの**医療費**
- ・**在宅を支えるサービスの不足**、施設サービス利用率の高さ
- ・医療・介護を担う**人材の育成、人材確保**
- ・**急性期医療、地域医療、介護**の連携
- ・地域包括ケアモデルの確立

愛知県地域包括 ケアモデル事業

(H26.4～H29.3 3ヶ年事業)
医療・福祉一体提供モデルとして実施

豊明市北部地域をモデル地区とし
藤田保健衛生大学とともに事業展開

豊明団地における取り組み
＝けやきいきいきプロジェクト



介護保険 地域支援事業を
活用して**地域包括ケアを通
じた地域づくりを充実・強化**

愛知県在宅医療連携拠点推進事業 (H26.1～H27.3 15ヶ月事業)

- ・地域包括ケア連絡協議会の設置
- ・多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成
研修事業の実施
- ・ICT「いきいき笑顔ネットワーク」による連携推進
- ・ICTネットワークと見守りセンサーを活用した見守りサポート
事業の実施 など

愛知県多職種協働による在宅チーム医療を担う 人材育成研修 モデル事業 (H26.1～H27.3 15ヶ月事業)

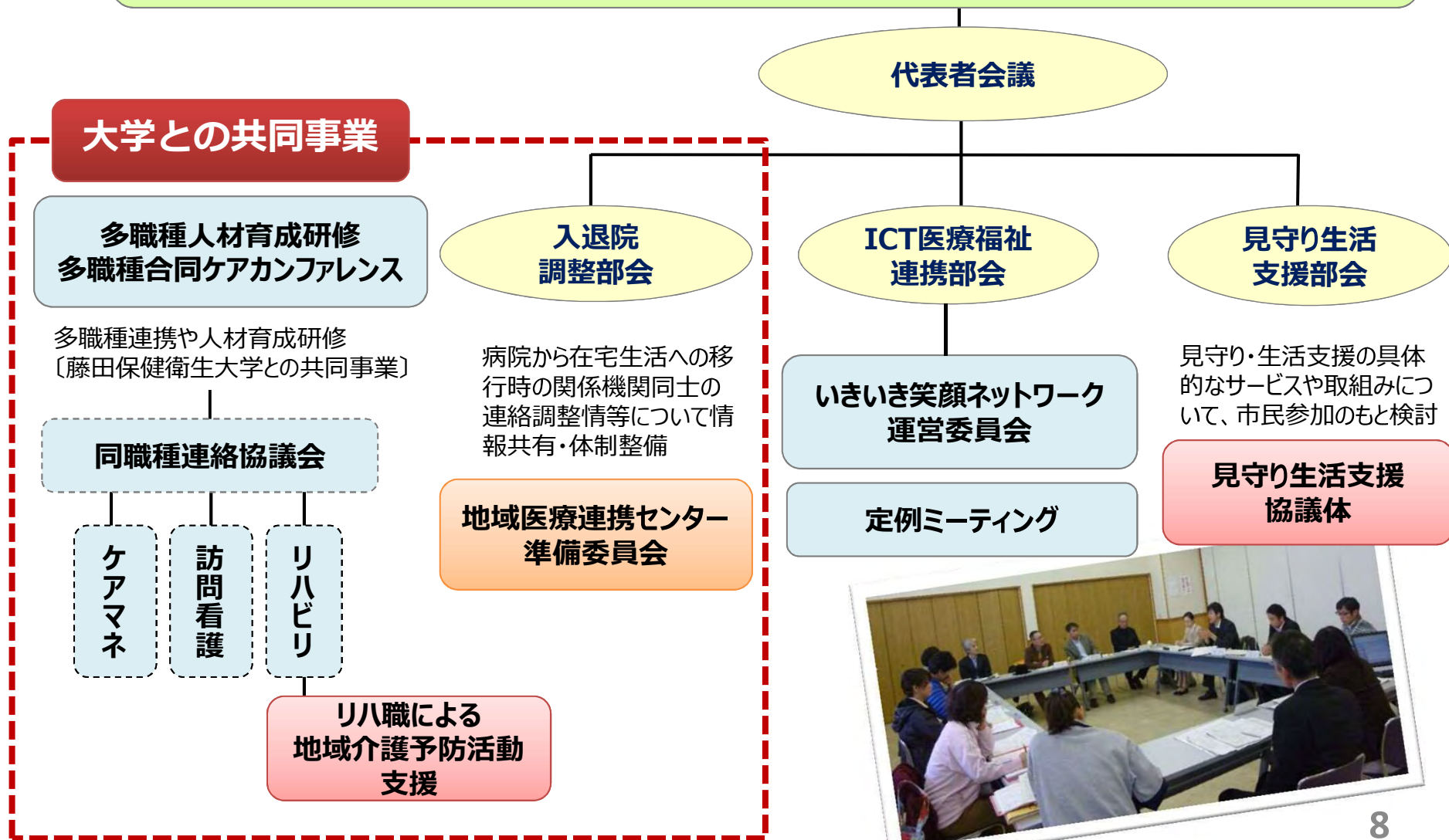
豊明市北部地域における地域包括ケアの取り組み

豊明市全体における在宅医療・介護連携推進に関する取り組み

東名古屋医療圏域（豊明市・東郷町・日進市・長久手市）における在宅医療・介護連携推進に関する取り組み

豊明市地域包括ケア連絡協議会

地域包括ケア体制構築に向けた各部会の取組状況の報告と課題の検討
平成26年4月設置 地域ケア会議の施策検討レベル会議として位置づけ



統合ケア×地域ケア (integrated-care) × (community based-care)

(自治体・大学が核となり地域のフォーマル・インフォーマルケアを統合)

目指す姿：本人の生活の場を中心とした保健・医療・福祉の統合ケアの確立

重点
取
組
み
事
項

◇ICT情報連携ツール「いきいき笑顔ネットワーク」活用

・ICTを「チーム支援」の標準ツールとして活用

◇医療介護人材育成事業

・多職種人材育成研修、地域の職能団体組織化支援

◇入退院連携に関する政策研究

・患者動向の分析、医療介護連携に係る課題分析

◇地域介護予防活動の支援

・地域へのリハビリテーション専門職の派遣、市民リーダー育成